

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年11月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104050
法人名	有限会社 たすけあい鹿児島
事業所名	グループホーム 中山の里
所在地	鹿児島県鹿児島市上福元町5933番地 (電話) 099-266-0003
自己評価作成日	平成24年10月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=4670104050>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年11月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・入居者様の個性、状況に合わせ個別にきめ細やかな真心介護に取り組んでいます。
- ・経験豊富な看護師を配置、健康管理を強化しており入居者様が健康で長生き出来るよう日々の観察で24時間安心があります。
- ・職員の年齢が幅広く18歳30代40代50代…と配置してあるので、それぞれ対応でき、皆でいい知恵が出せます。
- ・田畠や山に囲まれ四季折々に変化があり山桜や紅葉を見る事が出来ます。隣の畑のおばさんが野菜を持ち面会に来て下さいます。
- ・季節ごとに福祉バスで運動会【松元町運動公園】花見【錦江湾公園都市農業センター】そうめん流し【近くの川上ソーメン流等】参加社会交流が出来ます。
- ・個別処遇で新鮮な海の幸を食べたい希望者には東市来、蓬莱館かごしま物産館などで美味しく食べる外出もあります。
- ・季節に合った旬の食材、調理方法、味付けなど調理師も3人配置しており毎日美味しい手料理を作り食べて戴いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・このホームは、静かな住宅地内に位置し、デイサービスセンターに隣接した2階建の2ユニットのホームである。近くには、保育園や小学校・高校があり、交通等の利便性がよく、地域住民とふれあいながら生活できる環境にある。
- ・町内会に加入し、地域行事や清掃活動に積極的に参加している。高校の実習生の受け入れや防災訓練には、地域住民の参加などがあり、交流を深めている。運営推進会議が充実しており運営に反映させている。
- ・利用者は職員が朝10時から新聞記事を読むのを聞いたり、月2回の水彩画教室を楽しみに、ゆったりとした生活をしている。
- ・管理者は、話しやすい環境を整えて、職員の意見や提案を積極的に聞き反映させている。外部や内部の研修にも参加できるように配慮している。職員は、”利用者が暮らしの中で笑顔を見せてもらえるような支援をしたい”と意欲的である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	グループホームの運営理念に基づき実践に心がけ毎週月曜日に職員全員で唱和している。	独自に作りあげた理念である。朝の申し送り時に唱和し、職員会議やケア会議等で話し合い、具体的なケアにつながるように、共有と実践を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	高校生の実習受け入れ、ボランティアで中学生との交流、専門学校生徒との学習、園での行事などに参加して戴き、地域の方々と交流している。	町内会に加入し、地域の回覧板やホーム便り等で地域と情報のやりとりがある。地域行事や清掃活動などにも、積極的に参加している。保育園児との交流や高校生の実習・地域住民のボランティアの受け入れなども行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業者は地域の民生委員さんの尽力により町内会の高齢者を把握、定期的に挨拶や学習の機会を設けている。（学識経験者を招き絵画教室を定期的に開き参加して戴いている）困りごとの相談も受けています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月1回の開催で、地域の民生委員、町内会長、地域包括支援センターの方の意見を伺いサービスの質の向上に生かすようにしている。	会議は、定期的に開催している。行政や地域住民の代表・家族が参加し、外部評価結果や事業運営の報告がされている。出会者から理解と協力を得ている。出された意見等をもとに、サービス向上につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	毎年介護相談員の受け入れをしており、利用者の意見は真摯に受け止め日常生活に生かしている。	市担当者とは、日ごろから広範囲にわたって連携を保ち、ケアサービスのアドバイスをもらうなど、相互の協力関係が築かれている。福祉関係の担当者とも、細かに連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員は研修会に参加して拘束による精神的な苦痛や弊害を学んでおり、鍵をかけない生活を実施している。	マニュアルを基本に、毎月の職員会議で話し合い、職員の共通認識を図っている。昼間は玄関は施錠せずに自由な暮らしを支援している。見守りを中心にしているが、無断外出のケースには、近隣の施設や地域住民の協力関係もできている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	職員は外部、内部研修で高齢者虐待防止法を学び虐待が起きない様にしている。身体的な事のみでなく日常の言葉(言葉の暴力)使いにも職員同士お互いに注意しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度の利用を検討している利用者がおり、家庭裁判所や登記簿など取り寄せ手順を踏んで、利用者支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前はご家族ご本人に見学がてら来所いただき、不安や疑問に思われる事等を伺い、できる事出来ない事などの説明をして理解納得を図っている。契約書も充分な説明と納得できるように持ち帰り良く検討して戴いている。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱の設置、毎月の便りに事故報告、出来事報告など掲載細部にわたり報告している。	日頃から、何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意している。面会の時が家族の意見等を把握する良い機会となっている。遠方の家族には、電話で意見等を聞くようしている。出された意見や要望等は、職員会議で話し合い、運営に反映させてい。意見箱も設置している。		
11 7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の職員会議、処遇会議や勉強会等の場での自由な意見や提案を聞き、業務改善に向けて努力反映出来る体制が出来ている。	管理者は、会議やミーティングの時に、職員の意見や提案を聞く機会を設け、コミュニケーションを図っている。内容によっては、個別に聞いたり、適切にアドバイスをしている。出された意見や要望等は、職員会議で話し合い、運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	代表者、管理者は、職員個々の勤務実績努力を把握しており、やりがいや向上心を持ち働けるようにし、又給与などに反映するよう研修、介護福祉士の資格取得なども応援している。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員の資格取得等は勤務調整して研修を受ける機会を作り受験出来るように支援。年間計画の中に研修が組み込まれ内外研修に参加、学習している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	谷山地区は年間を通して研修の企画がある。また地域のGH県、市のGH協議会に所属しネットワーク作りや研修、勉強会に参加し、質の向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談申し込みの時点でご家族本人の見学を受け入れ、困っていることや不安な事を伺い、情報収集や関係づくりに努めている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学来訪時にはご家族の求めている事、介護上でのご苦労や困っていること等を伺い、ホームで出来る事や今後の受け入れ体制など余裕を持ち対応、関係づくりに努めている。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談来訪時は切羽詰まった状況、空きがない場合でも要望を伺い、他のサービス利用への情報提供するなど、対応に努めている。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の役割の大切さを職員は理解し、家族の一員の思いで関わり、行事食など一緒に作り出来など教えて戴きながら、感謝の気持ちを伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族は入居者の生活に欠かせない大切なメンバーであることを常々たえている。面会時の素晴らしい笑顔と安どの表情に職員は安心します。家族に替わる事は出来ないが、家族の一員のつもりで介護している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前のお友達が遊びに来られたり、一緒に外出したり自由に出かける事を支援しています。	馴染みの美・理容院や知人との関係を継続できるように支援している。また、利用者との関係だ途切れないように、家族の協力で法事や墓参り、外食などの便宜をはかっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は利用者が寂しさを感じない様に基本理念に添い（仲良く楽しく暮らせるお手伝いをします）孤立しないで支え合うよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローシ、相談や支援に努めている	グループホームから23年度は特別養護老人ホームに2人転出、病院に入院された方には早く退院できるようにお見舞いに行き関係は続いている。6年前に退所された家族の方が、毎年洗剤や日用品を持ってきてくださり有りがたいです。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	これまでの生活習慣を理解し、本人の思いや意向をくみ取るように努めている。	日々のかかわりの中で、利用者の視点に立ち、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。また家族や関係者からの情報も得るように努めている。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	入居前の生活習慣、病気の事、食事のこと等、把握に努めている。話したくないと拒否される方もいる。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	毎日の記録、引継ぎ等から、心身の状況、生活リズムを総合的に把握している。		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	職員間で情報を共有している。本人が楽しく暮らせるために、本人、家族、職員の意見を聞き計画作成をしている。	本人や家族、その他必要な関係者と話し合い、介護計画を作成している。さらに毎月モニタリングを実施し、見直しを行っている。職員全体でカンファレンスを行い情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録引継ぎで状態把握に努め、変化が有れば話し合い、情報は共有して介護計画に生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の意向を大切にしながら必要に応じて対応している。家族に代わり受診同行や外出支援を柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のレストランや食堂での外食、近隣のソーメン流しの利用、夏祭りへの参加、地域での生活を実感できる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者ご家族の希望する医療機関で継続受診をしています。歯科、皮膚科、眼科受診も支援している。	本人や家族の希望しているかかりつけ医への受診が、継続できるように支援している。診療所から、定期的に訪問診療があり、連携を取りながら適切な医療を受けられるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	20年4月より医療連携加算を頂き、看護師は健康管理に一生懸命取り組み、職員も利用者の病気については、専門的な意見や実習を受け、実践に役立てている。			
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者、看護師、介護支援専門員は医療機関への情報提供を行い、継続ケアや情報交換を行い、早期退院への支援を行っている。			
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時の説明や入院後3週間目に、サービス担当者会議を設け情報を共有し、利用者にとって一番良いと思われる方法で充分に話しあう。	入所時に、事業所としての終末期や重度化に伴う対応の指針を家族に説明し、同意書をもらっている。また、状況変化に応じ、その都度、話し合い、対応しながら支援に取り組んでいる。職員全員がその方針を共有している。		
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時や事故発生時に備えマニュアルを作りすべての職員が対応できるように取り組んでいる。心肺蘇生の指導を定期的に受けている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や地震を想定して避難訓練を利用者や職員、地域の民生委員さんなどの協力を得て行っている。近隣には挨拶に伺い協力の約束を頂いている。	年2回、昼・夜間想定の避難訓練を、利用者と一緒に行っている。地域住民の協力体制もできている。また、災害に備えた備蓄の準備もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	職員会議、処遇会議での指導により、常に思いやり気配りをして、個人に合った声掛けをしている。	利用者の尊厳とプライバシーに配慮しながら、さりげないケアや言葉かけに努めている。職員の採用時、個人情報保護についての誓約書をとっている。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	利用者の自由な意見を尊重して援助に心がけている。お化粧外出、外食、電話取り次ぎ等の支援、また居室で趣味など出来るよう支援している。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者の希望に沿い朝ゆっくり起きたい方にはゆっくり起きて貰い(夏でも9時ごろ)新聞を6時に読みたい希望の方には6時に新聞を持参等柔軟な対応をしている		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	散髪やパーマ等自分の好みのところに家族や職員と同行、季節に合わせた衣服の購入など本人に合わせた支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご飯は美味しく食べて頂きたくて、ご飯前には嚥下体操をして準備を整えています。各々出来る事で職員は手助けをもらっている。出来る方は配膳、下膳、季節物の皮むきえんどう豆、つわ、竹の子それぞれに力を発揮している。	食事を一日の大切な生活源として、嗜好に配慮し、利用者と職員が一緒に食卓を囲み、会話を交わしながら摂っている。また、個別に応じてミキサー食や刻み食を準備し、味付けを工夫している。誕生会や外食を楽しみに利用者の支援をしている。準備や後片付けも一緒に行っていている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食事量のチェック、形状の工夫、捕食の提供を行い、個別に対応している。 水分摂取量のチェック、時間を決めて支援、入浴後など水分補給に勤めている。紅茶・コーヒーなどが有り、好きなものを飲んでいただいている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来る方には自分でしていただき、出来ない方には細部にまで歯ブラシやスポンジブラシで対応。口腔ケア教室も開き、清潔に過ごす事が出来ている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	看護師職員が排泄チェック表を活用して、時間の把握、トイレ誘導している。失敗も有るが、上手く行く時もある。昼夜の状態にあわせリハパンやパットの使い分け、PWトイレの使用で身体的負担の軽減に努めている。	自尊心に配慮しながら、個々の排泄パターンを把握し、個別にトイレ誘導をしている。リハビリパンツ・失禁パンツを昼夜で使い分け、排泄の自立に向けた支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を活用。看護師、職員で毎日チェック。排便が無い日が続く事の無いようにしている。便秘によりサツマイモや豆料理等で便秘予防に努めているが、医師に相談、緩下剤の使用もある。			
45 17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個人の希望にあわせ時間の調整をしている。 入居者の能力に応じた入浴支援をしている。	入浴日や時間帯を、職員が一方的に決めずに、個々人の希望を取り入れた入浴ができるように支援している。入浴を好まない利用者には、生活歴を把握して、ケアを行い工夫している。		
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活のリズムが出来るように昼夜の更衣を支援している。日中の様々な活動の中で快い疲れで安眠できるように、又室温、照明にも気配りしている。			
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については、看護師より適切な助言を貰い、声に出して名前確認、手渡し、確実に服用するまで見届けている。薬局からの情報を看護師は確認、目的と副作用についても職員に周知できている。			
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	絵画教室に参加、作品は丸屋ガーデンズやダイエーに飾られている。園外行事や園内行事も多くあり、皆さん楽しみ喜びを味わいながら楽しく過ごしている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節の行事や美味しい物の食べ歩き、ドライブやお買い物など、福祉バスで出かけたり、個別に行ったり、時には家族と年忌や墓参りに出かける機会も作り出かけている。	日常的には、近隣の散歩や買い物・時には外食など、できるだけ戸外に出かけられるように支援している。年間行事表を作成し、おせ祭り等に出かけている。個々の希望による遠方への外出については、家族の協力を得ながら支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を持したり使えるように支援している	本人の希望で小遣を持っている方も居ます。皆さん戦争を体験、お金の大切な事を充分解かっており、無駄な買い物はしません。買い物は職員同行です。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	携帯電話を持ち家族や友達等、自由に使用している方も居る。姉妹や友達ボランティア団体との交流、外出支援もしている。最近では10月福岡まで新幹線でいとこの結婚式に参加。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	中に入ったら台所ホールが見渡せ安心できる。和室では洗濯物たたみをして語らい、テレビを見て楽しみの場になっている。	共用空間は、換気や採光に配慮し、開放的で明るい。周囲の壁には、利用者と職員の手づくりの壁画があり、季節を感じられるように毎月変えている。ホールの一角に畳のコーナーもあり、居心地よく過ごせる工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人静かに過ごしたい時には自室でラジオを聴きテレビ見て新聞を読み昼寝をして自由に過ごす事が出来る。又みなと過ごしたい時はホールで思い思いに語り過ごしている。			
54 20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族は本人が使うように持つて来るが、本人は綺麗にかたづけて箪笥にしまい何も無くすっきりしている。本人はそれが居心地いいのであればそれもよしです。	備え付けのベッドやタンス等があり、例えば百歳の利用者の部屋は、祝いの花や写真が飾られたり、他の利用者の部屋には、位牌や馴染みの物が置かれるなど、居心地の良い部屋づくりが配慮されている。		
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援を目標に、利用者の力に応じた声かけ見守りを行い、安全を優先して個別に対応している。			

V アウトカム項目

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない